

# 産業廃棄物自主行動計画 フォローアップと業界独自目標制定について

2007年12月20日

日本製紙連合会

## 1. 2006年度フォローアップ

日本製紙連合会は「環境に関する自主行動計画」を策定し、産業廃棄物の最終処分量についてもその目標を定めている。1999年9月に当初の削減率目標を『2010年度までに産業廃棄物の最終処分量を有姿量で45万トンまで低減することに努める』と数量目標に改定、毎年そのフォローアップを実施している。2005年度は目標を達成したが、今回のフォローアップによると、残念ながら2006年度実績の最終処分量は増加に転じ47.2万トンと再び未達成となった。

## 2. 製紙業界独自目標の制定

日本経団連は、昨年度、傘下のフォローアップ参加31業種の産業廃棄物最終処分量が2002年度以降3年連続して目標値を下回っていることを受けて、既存目標である最終処分量以外に業界独自目標を制定する旨の要請を各業界団体に対して行った。

当会では最終処分量が増加に転じていたため、昨年度は既存目標の達成に向けた取組み強化が必要との理由で業界独自目標の設定を見送ったが、他業界と歩調を合わせるため目標を定めることとした。

### <製紙業界独自目標>

「2010年度までに有効利用率93%以上をめざす」

有効利用率 = (発生量 - 最終処分量) / 発生量 (有姿ベース)

以上

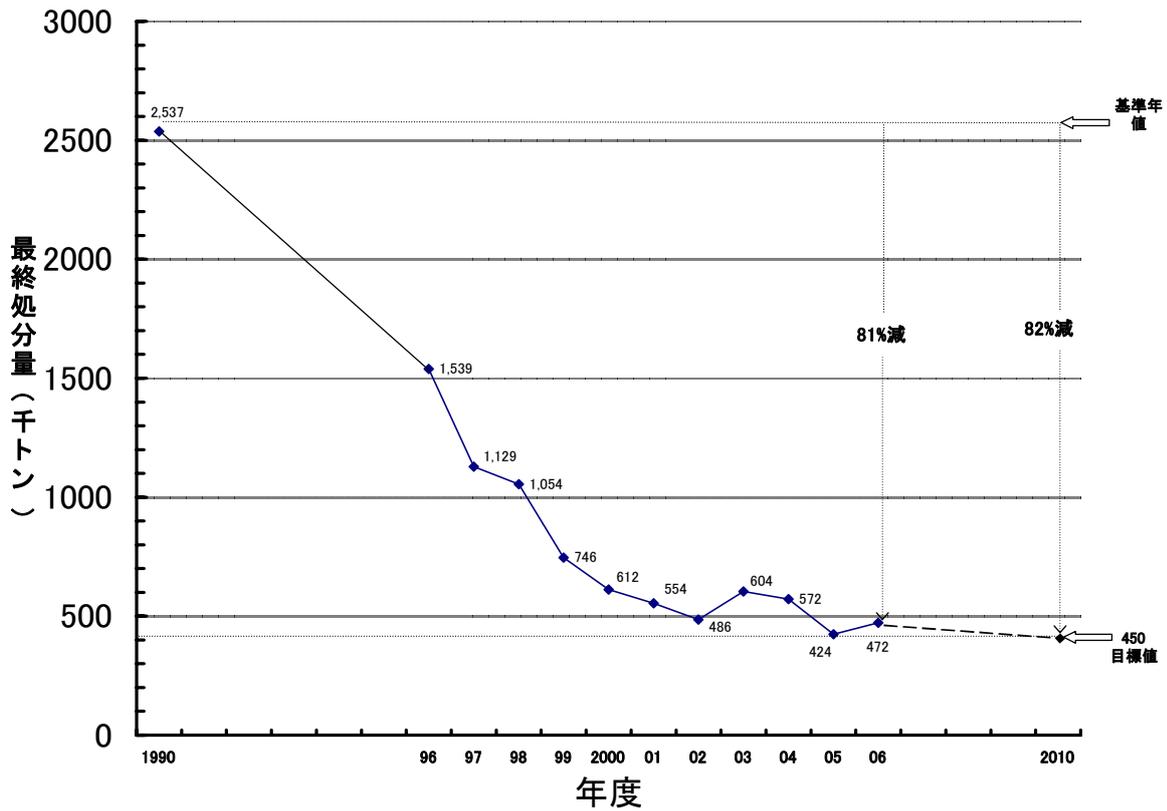
問い合わせ先；

日本製紙連合会 技術環境部長 中川好明 (TEL 03-3248-4808)

## 2010年度の最終処分量(有姿)目標の進捗状況

日本製紙連合会「環境に関する自主行動計画」は、2010年度の紙パルプ産業の廃棄物の最終処分量を有姿量で45万トンまで低減することに努めることとしている。

### 廃棄物最終処分量の実績及び目標[有姿量]



### 有効利用率推移[有姿] (製紙業界独自目標)

